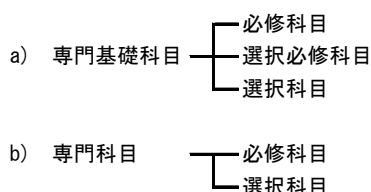


《2023年度入学生用》

# 〔建築学部〕まちづくり学科

School of Architecture  
Department of Urban Design and Planning



## ■まちづくり学科 カリキュラムの編成

建築学部のカリキュラムは1, 2年次と3, 4年次に分かれている。1, 2年次において、A群「総合教育科目」とB群「専門科目」a)専門基礎科目を学修することによって建築学の基礎的な諸分野を広く網羅的に学び、技術者として必要とされる基礎的教養科目と、建築技術者に必要とされプロフェッショナルとして備えるべき専門的知識の基礎を身につける。

1, 2年次の教育により建築の多様性を早い段階で理解したうえで、3年次からは、より高度できめ細かな学科独自のカリキュラムを学びはじめる。3, 4年次のB群「専門科目」b)専門科目は、建築技術者として必要とされる専門知識を学ぶ学科独自の専門科目群で、各学科、教育目標によって異なる応用的で多様な科目が細かく設定されている。これらは同時に、他学科とも相互に関連していることは留意しておいてほしい。

4年間の勉学の集大成として、自己学修能力を高め、社会での知識や技術の適用を確実にするために「卒業研究」を行う。「卒業研究」では、学生が自己の適性と将来の進路等を踏まえ、指導教員と相談の上で、「制作」または「論文」を行う。

## ■3年次科目履修条件、卒業研究着手条件および卒業条件

本学では、4年生までは在籍年数ごとに「学年は上がって」いく（在籍1年目は1年生、2年目は2年生、3年目は3年生、4年目は4年生となる）。これは修得単位数や、**3年次科目履修条件・卒業研究着手条件の充足**にかかわらず、ただし、3年生以上でも3年次科目履修条件を満たさねば3年次配当科目を履修できず、卒業研究着手条件を満たさなければ「卒業研究」を履修できない。これらの条件は3学科共通である。詳細は「履修規定と履修上の注意」を参照すること。

## ■まちづくり学科への配属について

建築学部では、3年次科目履修条件の充足・未充足や休学期間の有無などにかかわらず、在籍3年目に、各学科へ配属される。まちづくり学科に配属された学生は、以降、まちづくり学科のカリキュラムを学修する。学科配属手続きの詳細については、1, 2年次に開催するガイダンスや説明会のほか、キューポートや掲示等で周知する。配属学科は本人の希望と成績により決定される。

なお、社会における専門分野の横断的な繋がりを踏まえた深化が生じることを踏まえ、研究室登録手続きを経て履修が決定する3年後期「建築セミナー」と4年通年「卒業研究」は、所属する学科に限ることなく、建築学部のすべての研究室を希望することができる。研究室登録手続きの詳細については、ガイダンスのほか、キューポートや掲示等で周知する。



【学別別表第1】建築学部まちづくり学科カリキュラム表（2023年度入学生用） [2/2]

群	科目区分	科目種類	授業科目	選必修別	授業形態	学年	履修期	単位数	教職	学位授与の方針1	学位授与の方針2	学位授与の方針3	学位授与の方針4	備考
B群	専門基礎科目	a)	建築技法	必修	講義	1年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			構造力学Ⅰ	必修	講義	1年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			設備計画	必修	講義	1年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			基礎設計・図法	必修	演習	1年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			環境工学Ⅰ	必修	講義	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築計画Ⅰ	必修	講義	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築材料	必修	講義	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			西洋建築史	必修	講義	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築設計Ⅰ	必修	演習	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築入門	選択	講義	1年	前期	2単位		0	100	0	0	
			社会貢献学入門	選択	講義	1年	前期	2単位		0	100	0	0	
			都市デザイン	選択	講義	1年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			まちづくり論	選択	講義	1年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築デジタル概論・演習	選択	演習	1年	後期	2単位		0	100	0	0	
			構造力学演習Ⅰ	選択	演習	1年	後期	1単位	教職	0	100	0	0	
			環境工学Ⅱ	必修	講義	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築計画Ⅱ	必修	講義	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			構造力学Ⅱ	必修	講義	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			都市計画	必修	講義	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築設計Ⅱ	必修	演習	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築の構造	必修	講義	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築施工	必修	講義	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築法規	必修	講義	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			日本建築史	必修	講義	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築設計Ⅲ	必修	演習	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			環境基礎実験	選択必修	実習	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			構造基礎実験	選択必修	実習	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			材料実験	選択必修	実習	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			測量実習	選択必修	実習	2年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築・都市の安全	選択	講義	2年	後期	2単位		0	100	0	0	
			建築概論	選択	講義	2年	後期	2単位	教職	0	100	0	0	
			構造力学演習Ⅱ	選択	演習	2年	後期	1単位		0	100	0	0	
			まちづくり演習	必修	演習	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			建築技術者の倫理	選択	講義	3年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			建築実務特別講義	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			イギリス留学準備英語	選択	演習	3年	前期	1単位		0	100	0	0	
			建築情報処理Ⅰ	選択	演習	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			イギリス留学まちづくり調査法	選択	講義	3年	後期	3単位		0	100	0	0	
			イギリス留学建築デザインA	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			イギリス留学建築デザインB	選択	講義	3年	後期	3単位		0	100	0	0	
			イギリス留学建築計画	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			建築・まちづくり演習	選択	演習	3年	後期	3単位		0	100	0	0	
			建築セミナー	選択	演習	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			建築情報処理Ⅱ	選択	演習	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			学外研修	選択	実習	3年	集中	2単位		0	0	30	70	
			卒業研究	必修	卒研	4年	通年	8単位		0	100	0	0	
			建築総合演習	選択	演習	4年	前期	3単位		0	100	0	0	
b)	専門科目	環境共生科目	現代まちづくり論	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			都市空間調査法	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			まちづくり経済学	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			都市交通計画	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			ランドスケープデザイン	選択	講義	3年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
			環境植栽学	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			都市空間デザイン論	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			都市環境デザイン史	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			緑地環境計画	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0	
			環境生態学	選択	講義	4年	前期	2単位		0	100	0	0	
			地域の安全	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0	
			地震・複合災害工学	選択	講義	3年	前期	2単位	教職	0	100	0	0	
建築の安全	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0				
災害復興論	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0				
建築環境計画	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0				
地域住環境計画	選択	講義	3年	前期	2単位		0	100	0	0				
環境評価法	選択	講義	3年	後期	2単位	教職	0	100	0	0				
建築音響	選択	講義	3年	後期	2単位		0	100	0	0				
都市設備	選択	講義	4年	前期	2単位		0	100	0	0				
その他			まちづくり職業指導		講義	3年	通年	4単位	教職	40	0	40	20	上記の科目は教職免許取得時に必要な科目であり、「卒業に必要な単位数」に算入する。この科目も算入。

## 【学則別表第5の9】建築学部 進級・卒業条件表(2023年度入学生用)

群	科目区分	3年次科目履修条件	卒業研究着手条件	卒業条件
[A群] 総合教育科目	a) 総合文化科目		1年次指定選択必修科目4単位以上 注1)	合計24単位以上 (a) 総合文化科目, b) 自然科学系 科目の1年次指定選択必修科目を 含む)
	b) 自然科学系科目		1年次指定選択必修科目4単位以上 注1)	
	c) 外国語科目		必修科目6単位	8単位以上 (必修科目6単位を含む)
	d) 保健体育科目		必修科目2単位 (上限5単位)	2単位以上 (必修科目2単位を含む, 上限5単位)
	e) キャリア支援科目			
[B群] 専門科目	必修科目	必修科目・選択必修科 目合わせて34単位以上	1, 2年次担当のすべての必修科目38 単位	1, 2, 3年次担当のすべての必修科目 40単位
	選択必修科目		2単位 (上限2単位)	2単位 (上限2単位)
	a) 専門基礎科目 b) 専門科目	選択科目		32単位以上 (建築学部他学科3, 4年次担当選択 科目を16単位まで含められる)
		卒業研究		8単位
必要な合計単位数		58単位以上 注2)	100単位以上 注2)	124単位以上

### <進級に関わる注意事項>

注1 参照) 建築学部ではA群総合教育科目a) 総合文化科目とb) 自然科学系科目に「1年次指定選択必修科目」がある。1年次にそれぞれ2科目4単位以上、計4科目8単位以上の修得が義務付けられている。ただし、「基礎数学」、「微分積分I」、「微分積分II」の中から複数科目修得しても、すべて卒業単位とはなるが、1年次指定選択必修科目として認められるのはそのうちの1科目のみである。

在籍3年目に、まちづくり学科、建築学科、建築デザイン学科への所属が決定する(休学期間の有無や3年次科目履修条件を充足している・いないに関わらない)。

3年次科目履修条件の判定は2年後期末に実施される。この時に条件を満たせない場合は、各年度の前期末と後期末に判定される。なお、3年前期末、4年前期末に条件を満たした場合でも、その年度後期に開講される「建築セミナー」は履修できない。

「卒業研究」は4年次通年科目のため、「卒業研究着手条件判定」は3年後期末に実施される。この時条件を満たせない場合は、各年度の後期末に判定する。

注2 参照) 建築学部のA群・B群科目の修得単位数のみ算入できる。

### <その他の科目修得ルール>

- a) 専門基礎科目・選択必修科目の「構造基礎実験」「材料実験」「環境基礎実験」「測量実習」からは1科目しか履修できない。
- 各学科必修科目「まちづくり演習」、「建築演習」、「建築デザイン演習」は重複履修できない。また、所属学科で修得した科目と同一名称の建築学部他学科科目は重複履修できない。
- 「線形代数学Ⅰ・Ⅱ」「建築幾何学Ⅰ・Ⅱ」「微分方程式論」は、建築学科カリキュラム専門科目です。単位修得すると、3年次に建築学科に配属した学生は【B群】専門科目b) 専門科目として、まちづくり学科と建築デザイン学科に配属した学生は他学部科目として、区分され単位認定されます。
- カリキュラムの経過措置と再入学生、編入学生に対する取扱い
  - (イ) 学生には、入学年度のカリキュラムが適用される。
  - (ロ) 今後、カリキュラムが変更された場合、入学年度のカリキュラムにない専門科目の単位修得は「建築学部科目変遷表」(『履修の手引き』に掲載)によって認定される。また、「建築学部科目変遷表」において、入学年度のカリキュラムの専門科目と、それに対応する新カリキュラムの専門科目は重複履修できない。名称が異なっても、対応科目に設定されていれば、同様に重複履修できない。
  - (ハ) 再入学生、編入学生には、再入学、編入学年次に該当するカリキュラムが適用される。
- 建築学部3年次への編入生、転籍生の履修に関する注意
  - 3年前期の必修科目と1・2年次担当の必修科目が時間割上重なる場合は、卒業研究着手条件を満たすという観点から1・2年次担当の必修科目を優先しなければならない。

★上記の条件を充足しているか否かの判定は、毎年度末に行う。

なお、年度末に充足できなかった場合、次年度以降の前期終了時点でも判定を行うことがあり、当学科では、以下のとおりとする。

条件の種類	前期末判定の有無
3年次科目履修条件	有
卒業論文着手	無
卒業	有（学則の定めにより）

※「3年次科目履修条件」を満たしていない者が、次の判定の時期に「卒業論文着手条件」を満たした場合、卒業論文に着手することができる。